

事務事業名	〈H23新規〉第2期白根楡形線整備事業(補助)		所属部局	建設部	単位番号	2011- 7135				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	入倉隆士				
			所属担当	道路河川担当	担当者名	古屋 桂				
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 02	目 02	細目 020	細々目 19
政策	11	道路網の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	18	生活関連道路の整備								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成23年度 ~ 平成28 年度)			法令根拠	道路法・道路構造令					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 1. 事業内容 道路整備に関するプログラムに位置付けられ、市の骨格を形成する幹線道路の整備(L=360m w=11.0m)を補助事業の社会資本整備総合交付金により行う事業 2. 事業費の内容 設計委託、公有財産取得、支障物権補償、道路改良工事			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 委託費 2,745 用地費 10,411 補償費 28,824 計 41,980						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	24年度活動実績 用地測量委託・用地取得一式・物権補償一式 25年度活動予定 用地取得一式・物件補償一式
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	計画道路利用者 改良区間(白根楡形線)
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	主要幹線へのアクセスが容易になり、目的地までの時間短縮及び地域活性化
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	道路網整備を図る

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア:事業用用地取得割合 % イ:工事延長の割合 % ウ:測量試験の執行割合 %
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア:利用者数 人/日 イ:道路計画延長 m ウ:計画路線の起業地面積 m <sup>2</sup>
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア:目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合 % イ:事業に進捗率 % ウ:
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア:車の運転において安心・安全に利用できることと回答した市民の割合 % イ:

		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円	5,500	23,089	22,000	27,500	27,500	4,400	110,000
		県支出金	千円							
		地芳債	千円	4,200	17,900	17,100	21,300	21,300	3,400	85,200
		その他	千円							
		一般財源	千円	300	991	900	1,200	1,200	200	4,800
		事業費計(A)	千円	10,000	41,980	40,000	50,000	50,000	8,000	200,000
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	3	3	2	13	
	延べ業務時間	時間	300	500	500	500	300	100	2,100	
	人件費計(B)	千円	1,189	1,981	1,981	1,981	1,189	396	8,320	
	(A)+(B)	千円	11,189	43,961	41,981	51,981	51,189	8,396	208,320	
活動指標	ア	%	5.0	30.0	55.0	75.0	90.0	100.0		
	イ	%			30.0	60.0	95.0	100.0	100.0	
	ウ	%		10.0	15.0	90.0	100.0		50.0	
対象指標	ア	人/日	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	
	イ	m	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	
	ウ	m <sup>2</sup>	3,960.0	3,960.0	3,960.0	3,960.0	3,960.0	3,960.0	3,960.0	
成果指標	ア	%							58.0	
	イ	%	10.0	30.0	50.0	70.0	90.0	100.0	100.0	
	ウ	%								
上位成果指標	ア	%							35.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市の骨格路線の補助幹線に位置づけられ、既存道路とのアクセス向上により消防署施設の再配置計画により白根分遣所は意思に伴い地域住民の不安解消を図るべく企画された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	第1整備区間が平成23年度に供用開始を計るので、事業効果が目に見えることにより全線早期完成が望まれる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	第1整備区間の完成後、早急に第2整備区間の着手が地域住民から望まれる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の事業内容精査による、適正な事業表執行を図っている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	設計委託内容の精査により適正な予算執行

事務事業名	＜H23新規＞第2期白根櫛形線整備事業(補助)	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	-------------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市道路網の骨格を成す道路整備になるため、整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 インフラ整備の一つでもあり受益者が市民全体となる為、公共事業として行なうのが妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域住民のうるおいと利便性の向上を目的に進めているので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 基本的に詳細設計を行なう時点で、より経済的な工法選択により成果目標を達成するよう指示・管理を行い詳細設計を作成しているのが難しい。また、補助事業であり国の制度にのっとた運用をしている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各路線の整備を進めているので、統合は出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地元説明会を終え、既に用地買収・補償契約の話も進めているので、関係地権者は待っている状況であり、第1整備区間との整合性もなくなってくる。 市の主要施策事業に位置付けられている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 既に積算システムの運用及び事務事業の精査によるコスト削減に努めている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 積算システムの運用などにより業務時間のコスト削減を行なっている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 幹線道路網の整備であり、受益者は市民全体となるため公平・公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	次年度、第2整備区間2年目となり用地取得、物権補償が主体となるので、地権者にしっかりと説明を行い理解を得ること。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑦	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑦																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					